

## 2019年度市政懇談会 開催結果概要

- 日 時 令和元年7月3日（水）午後6時～
- 会 場 コア大空
- 出席者 12人

### 〔市長より説明（別途資料参照）〕

〇つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路

- ・ 釧路市の現状と課題
- ・ 釧路市まちづくり基本構想
- ・ 雇用の拡大、人材の確保
- ・ 子育て環境に係る施策
- ・ 学力向上に係る施策
- ・ 防災に係る施策
- ・ 都市機能向上に係る施策

### 〔事前調査による地域からのご意見等〕

#### ■町内会の加入促進について

町内会の加入促進のため、未加入者へのPRは行っている。他町内会と同じように根気強く努力する以外に手立てはないように思われる。しかしながら、市政にとっても、町内会の果たして来た役割は、非常に大きなものであると自負している。なお一層の市の取り組みについて、市長及び理事者等の意見をお聞かせください。

#### 【市民環境部長】

地域コミュニティの中心であり、まちづくりの担い手として大きな役割を果たす町内会につきましても、まちづくりをすすめる上で、欠くことのできない重要なパートナーと位置付けており、町内会に対する皆様のご尽力につきましても、心から感謝申し上げる次第であります。

市としましても、近年では、宅建協会釧路支部との協定や地域企業への協力を依頼するなどの取り組みを進めており、例えば、大家さんのご協力によるアパート1棟単位での加入が160件を超える状況もございます。今後も市連町と連携し、町内会活動の推進や加入率の向上に、取り組んで参りたいと考えております。

#### ■食品ロスの削減について

本年5月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が成立したこともあり、今後、「食品ロス」を削減するためにも、利用できる食品・食材を関連企業等が「フードバンク」という形で、釧路市内のNPO法人や民間企業等で運営している「地域食堂」「コミュニティ食堂」等に提供できるよう、釧路市が行政として、さまざまな連携を図るために支援をして欲しい。

## 【市民環境部長】

食品ロスにつきましては、日本では食糧の多くを輸入し依存している一方で、まだ食べられるのに捨てられていることが、全国的にも大きな問題となっています。

「食品ロス」削減は、釧路市が賛同している地球温暖化防止のための国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」の取り組みにもなります。

食べ物の無駄を無くすことで、ごみとして処分するために発生する温室効果ガスの削減にもつながります。

市といたしましては、生ごみを減量することを目的に「おいしく残さず食べ切ろう」30・10運動などに取り組んでいます。

また、フードバンクを活用して地域食堂に支援をとというご提案につきましては、市内でも市民活動として、フードバンクの活動を行っている団体、地域食堂を運営されている団体があるのはありがたいことです。

今後、市としてどのような取り組みや支援ができるか十分に情報収集したうえで検討していきたいと考えております。

## ■公共施設の集約化について

桜ヶ岡地区および益浦地区にある老人福祉センター、地区会館、児童センター、桜ヶ岡支所等の公共施設は、老朽化しており、駐車スペースも少ない状況である。

昨年開館した複合公共施設の「緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター」が利用者に好評であることから、今後、当該地域についても、点在している公共施設の集約化について要望したい。

## 【財政部長】

両地区にある公共施設は、その多くが昭和50年代に建設され、築30年を超え、老朽化が進んでいる状況にあることは承知しております。

これら施設の更新費用が、市の財政にとって重い負担となることが大きく懸念されます。また、人口が減少している中、施設を現状のまま維持していくことは、市民負担が大きくなっていくことから、人口規模に見合った適正な公共施設の量という考えのもと、釧路市公共施設等総合管理計画を策定しました。

昨年オープンしました「緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター」は、地域から公共施設の集約化、多機能化の提案をいただき、様々な検討を行い、建設したものです。本年からは、「(仮称) 松浦地区複合公共施設」の建設を2カ年の計画で行う予定となっております。

このように地域からご提案いただくことは、大変ありがたいことと思っており、今後様々な検討をしていきたいと考えております。

## ●質疑応答

### 【参加者A】

学力向上と言われているが、何をもってして学力という定義となっているかがわかりません。兄が学習塾を経営しており、兄は、学力を向上させるのは簡単であるが、どうして勉強をしなければいけないのかを教えることが難しいと言います。この点に関して市長の見解をお聞きしたい。

### 【市長】

国は、変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちには「生きる力」や「確かな学力」を育むことが必要であるとしており、これらは重要であると認識しております。しかしながら、計算力や国語力といった基礎学力がなければ次への展開ができないものだと思います。

基礎学力を向上させることで理解し、勉強の楽しさや本人のやる気につながると考えており、その基礎をしっかりと身に付けさせるという意味での学力と考えています。

### 【学校教育部長】

現在、AIなどの技術が発達している中で、今ある職業が無くなり、今存在しない職業が現れるといった、先行きが見通せない時代となり、子どもたちがこのような時代をどのように生き抜いていくのかが課題となっております。その上で、「基礎学力」は生き抜く力を身につけさせるための一番のベースとなるものだと考えており、この基礎学力を定着させることが重要と考えております。

### 【参加者A】

兄から、最近の子は、例えば算数をしっかりやり、完璧に覚えさせたとしても、1週間、他のことを行くと、以前完璧だった算数について簡単に忘れてしまうと聞いています。このような状況は兄の学習塾だけではないと思うので、現場がどのようになっているのか把握すべきと考えますがいかがでしょうか。

### 【学校教育部長】

生徒たちが学校で理解したことを翌日に忘れてしまうということは、実際にあると思います。しかし、学校の中で全てを解決するのではなく、家庭における復習や長期休暇時の計画的な勉強などの普段の積み重ねが基礎学力を身に付けさせることにつながると考えておりますので、学校や家庭と連携し、進めてまいります。

### 【市長】

勉強は訓練だと考えています。総合教育会議の中で、今までは、小中学校や市立の北陽高校を見て進めてきましたが、教育力とはそこだけでなく、保育園や幼稚園、塾、私立・道立学校、大学、専門学校の全てがこの街の教育力であるという観点の中で、現場の意見を聞く機会も増えているので、いただいた意見を踏まえ、現場の意見を聞きながらしっかり進めてまいります。

## 【参加者B】

今回、初めて市政懇談会に参加しましたが、懇談会というものではなく市政報告のように感じた。せっかく市長が来てくれるのにこれだけしか人が集まらないのは良くないと感じています。主催する側もどのようなにもっと市民に興味を持ってもらうのか考える必要があると感じますが、市長の考えをお聞かせください。

また、コア大空周辺は空き地が多く、今は草が生えているので見えないが、ごみでいっぱいになっています。年に1回、春採湖の清掃は行っているようですが、それ以外は清掃に関し、市をきれいにするという観点が無いのではないかと感じております。この点について市として考えて欲しいです。

最後に要望ですが、私は孫が2人いますが、大学に出たら釧路に帰って来ません。釧路市の人口が将来、6万人になるとの話も聞いており、今後、釧路市がどのようなになってしまうのか非常に心配です。市長も市議会議員の皆さんも、真剣に取り組んで欲しいと考えております。

## 【市長】

市政懇談会については、考え方をしっかり話していきながら進めていきたいと考えており、その上で、市政懇談会を実施するという形だけでなく、中身が重要であると考えております。

そのため、今後どのような形の中でどのような案内をし、どのように進めたらどのようなようになるのか、検証をしながら進めることが重要であり、この点を踏まえながらしっかりと進めていきたいと思っております。

次に、空き地における不法投棄につきましては、市有地であると市が管理していますが、民間の土地においては、所有者が管理することになっております。例えば、市の公園や市道の除草などは、国の予算が削減されている中で、今まで3回実施できていたものが2回の実施に縮小するなどしていますが、しっかり対処しようと努めています。しかし、民間の土地の管理については、なかなか難しい状況になっています。

そこで、不法投棄を防ぐためには、不法投棄をした人を捕まえられるような形が必要であり、そのためには防犯カメラが有効です。千代ノ浦にあるマリパークのトイレやバーベキューコーナーでは、ごみの不法投棄や施設の破壊などが非常に多かったため、防犯カメラを設置し、1カ月程度録画した上で、何かあれば警察に情報を提供するという形をとったところ、不法投棄や器物破損がなくなったという事例もあります。

住民の安全・安心を守るためにも、起きてしまったことに対処するのではなく、事前にしっかり対応することが必要であり、空き地に防犯カメラを設置することにはまだまだ行き着かないが、警察と連携しながら進めていくことが重要であると考えています。その上で、美化運動については皆さんに協力していただきながら進めており、完全なる不法投棄対策には至っていませんが、できることから行っております。

### 【参加者B】

市民のポイ捨て禁止条例のようなものを制定することはできないでしょうか。

### 【市長】

そのような条例を北海道において私が道議会議員のときに議員提案で制定しました。しかし、この条例には罰則がなく、罰則を設けるとしても取り締まる人が必要となり、警察との調整ができませんでした。札幌市は罰則があり、東京23区においてもエリアを決めているいろいろなことを行っている。

罰則がない状況ですが、罰則を設けることは非常に難しいと思います。

### 【参加者C】

5月に釧路市の福祉部から町内会長宛に災害時の要支援者の避難についての通知がありました。今まで、災害があった際は、まずは避難し、自分の命を守ることを基本としてきましたが、この通知は、災害時に避難する際、要支援者を連れて逃げて欲しいという内容でした。その中で、一番困っていることは、寝たきりの方をどのようにして避難させるかである。昔であれば玄関の戸を外し、担架にする方法もあったが、近年の建物の戸はアルミサッシで担架として使用することはできず、移動するための道具もありません。さらに、私たちの町内会は80歳以上の世帯が45世帯ほどあり、実際に要支援者の避難を助ける人がいるかどうか問題としてあります。そこで、このような状況に対し、市として相談にのってもらえるのでしょうか。

また、公共施設の集約化について、桜ヶ岡支所が建て替えになるのではないかと考えておりますが、その際、共和会館は集約されてなくなると考えてよいのでしょうか。

### 【市長】

災害時の要支援者の避難に対する対応について、町内会の皆さんに画一的にお願いをしており、先日の市政懇談会の中でも、今まで避難を優先するという形で進めてきましたが、今回このような形となったということで、町内会の中でどうするかという話をされているというお話を聞き、市役所からの依頼を重く受け止めていただいたことに感謝するとともに、これからしっかりと、どのように進めていかなければいけないのか、考えなければならないと改めて感じたところであります。

この事業の背景は、国から災害時に支援が必要な方をしっかりとリストアップするよう依頼があり、釧路市としてチェックし、回答を提出しました。今までは、支援が必要な方の情報は個人情報であるので外部に出すことができず、その方々を避難させるための組織ができている所には出して良いという形になっていたのですが、全国どこも対応せず、釧路市も8カ所ほどしかない状況でした。

また、大きな災害が続く中で、協力を担う町内会において、お互いの了解

があれば個人情報を出していくという形に変わり、少しでもこのような形で進めてくださいということとなったものです。

私は各町内会宛に通知した文書を見ていませんが、どのような形が可能であるか、対応がどのようになるかということを進めております。

現実問題、寝たきりの方がいれば、その時どのようにするかということがあります。町内会に対し「お願いします」という話ではなく、これからどのような形をとるか、特に市が考えなければならぬことであると考え、併せて、その方々の了解先やご家族もついてまわるものなので、その実態を国または市にお話いただいた中で進めていくものと思っております。

改めて、私も依頼の文書を読んで確認し、非常に重く受け止めていただいていることに、大変感謝するとともに、もう少ししっかりとした説明ができればということでお詫びを申し上げます。

その上でそのような話を何なりとしていただければと思います。

### **【財政部長】**

公共施設の集約化について、桜ヶ岡には、桜ヶ岡支所や中央会館、共和会館、その他にも町内会館も複数あると把握しております。公共施設の集約化や公有資産マネジメントは進めていかなければいけないという方向性であるが、実際、具体的にこの施設をどのようにしていくかは、現在、非常に難しい段階にあります。その中で、桜ヶ岡支所を今後どのようにしていくか、一緒に考えていかなければいけないと思っております。当然、人口も減っており、税金もコンビニで納められるようになり、これからは住民票もマイナンバーカードを持っていれば日本全国どこでも作れる形となっております。支所の利用人数も激減しており、どのような形がこの地区に必要であるのか、会館についても、どのぐらいの規模が必要であるのか、今後色々と検討していかなければならないと考えております。

このような中で、緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンターのように、地区からの声を上げていただくことも非常に大事だと考えております。